

平成23年度

事業計画書

自 平成23年4月 1日

至 平成24年3月31日

I. 事業計画の概要

II. 部門別計画の概要

III. 財務計画の概要

学校法人 精華学園

学校法人精華学園の平成23年度の事業計画をとりまとめましたので、ご報告致します。

I. 事業計画の概要

1. はじめに

わが国の高等学校を取り巻く環境は、少子化に伴いますます生徒確保が厳しくなり、各学校法人間での競争激化が予想されます。

本学園では自立、協調、創造を教育目標に掲げ、時代の趨勢に対応した教育内容の充実、多様化する生徒の進路に応えるコース制を導入して、2年生から情報国際コース、環境福祉コース、スポーツ健康コース、特進総合コースの4コースを設定し、生徒が自由に選択できるカリキュラムをいち早く取り入れるとともに、難関大学の現役合格をめざして3年間密度の濃い授業内容で取り組むための特進選抜コースも設置し、成果を上げてきたので、更に学力の向上に努めて参ります。

特に、年間の教育計画を部署別及びコース別に、一層きめ細かく指導を実践するための年間指導計画書を策定します。例えば、特進総合コースにおいては、大学の様々な分野の授業を体験し、進学に興味を持たせる為に、出張講義を取り入れ、また模擬授業を通じて各生徒の受験意欲を醸成することで大学合格実績の飛躍を目指し、生徒や保護者の要望に応じて参ります。

また、学校生活において部活動の持つ意義も極めて大きいものがあるので、今年度「部活動推進委員会」を発足させて、強化クラブの認定等を行い、部活動の一層の充実強化に努めて参ります。

一方、財務情報公開の義務化により、時代を先取りした諸改革の実現をより確実にかつ一層促進する必要性が生じており、学校法人を取り巻く環境の変化に対応できるよう事務能力の向上にも努めて参ります。

2. 財政見通しと基本的課題

平成23年度予算編成方針の策定にあたり、収入面については、受験者と入学生は一定の確保が出来たものの、大阪府補助金については、削減等厳しい状況が予想されます。

また、平成22年度国において私立高等学校等就学支援金の制度が創設されましたが、府において平成23年度大阪府授業料支援補助金制度を拡充したことに伴う収入面への影響についても慎重に分析する必要があります。従って例年対象となる補助金申請はもとより、従来申請できていない補助金につきましても、可能な限り手続きを進め、積極的、能動的に補助金確保に努めて参ります。収入面での柱となる授業料については、他学園に比較して低額であるので、平成24年度値上げに向けて取組んで参ります。また、生徒数確保の観点から、募集対策については、入試広報室を中心に中学校との緊密な連携を図るとともに積極的に情報提供に努めて参ります。

支出面については、施設の整備や教育内容を充実させるための費用、IT関連、空調関連の設備費などの多額の資金需要が見込まれます。

今後、各学校法人間の一層の競争激化の環境下にあつて、経営面において適切に対応して行くためには、予算の効率的、重点的な執行に努めることが肝要でありますので的確な資金計画を作成し、ムダのない取り組みをして参ります。

Ⅱ. 部門別計画の概要

各部門内においてしっかりとした計画を樹立するとともに部門間の連携を密にして、教育成果を最大限に発揮できるように努めます。

1. 主な部署の計画

- (1) 教務部は、生徒に対し「高校生活は広く知識を習得し、人格を形成する場」であることを常に認識させ、目的達成のための指導を行います。
そのため成績アップ特別指導、美化厚生教育、放送視聴覚教育、図書館教育、人権教育等多岐にわたる教育活動を通じて、生徒の学力と人間性の向上に努めますとともに、情報資料室との連携による指導要録等重要書類の適正管理や平成24年度以降の新カリキュラムの作成にも取り組みます。
- (2) 生徒指導部は、「生徒の進級・卒業のサポート、学校生活基本指導、問題行動阻止、生徒会・学園祭・部活動の充実」の4つを年間重点目標に掲げ、教養を高める教科の学習に加え、常に具体的な指導目標を定め、有為な社会人となるためのモラルを身に付けさせる指導に努めます。
- (3) 進路指導部は、生徒が長い人生をしっかりと見通した生涯設計に誤りのないように、各コース毎の連絡を密にして教科の内容を十分理解させ、学力の向上に努力させるとともに、進学・就職ともに進路決定まで粘り強く、適切な指導に努めます。
- (4) 学校適応委員会は、学校生活における生徒の適応諸問題について検討し、在籍生徒の不登校等の実態把握やこれらの生徒に対して教育環境の整備を図り、学校生活を継続させるための実施方策と連絡調整を行うことを目的としていますが、具体的に教育を実施する場として学習室を設置し、きめの細かい指導のもとに、早期に教室復帰させるよう努めます。
- (5) 保健室は、生徒が健康で安心して勉強や部活動に励み、学校生活が送れるよう健康診断や健康相談に努めるとともに、突発的な事故等にも適時適切に対応できる教職員間の情報交換と連携体制を整え、生徒が優しさと忍耐を身に付けて成長できるよう努めます。
- (6) 情報資料室は、4月からサーバー機を2台新調したほか成績処理用にもサーバー機を導入し、セキュリティ面の強化を図ります。
また、入試関連データのスムーズな出力や魅力的なホームページ作りに一層努力し、情報公開に寄与して参ります。
- (7) 入試広報室は、生徒減少期に入り、生徒確保のために中学校との密接な情報交換や本校の特色ある教育内容を積極的に広報することが重要であるとの認識のもとに、中学校訪問、中学校教師対象の本校見学会及び入試説明会、また、中学校保護者や生徒対象の説明会等きめ細かく対応し、生徒確保に万全を期してまいります。
- (8) 事務室は、学校運営を円滑に行うために、教学とは車の両輪との意識をもって取り組むことが重要であります。
そのため、生徒や保護者への親切な対応、学校施設や設備の適切な管理、スクールバスの効率的な運行、資金手当てのための金融機関との交渉等理事長の補佐をも念頭に積極的な事務執行に努めてまいります。

2. 各コース別の計画

(1) 1 学年

入学生は、特進共通コースと特進選抜コースの二つがありますが、前者については、生徒一人一人に対して個別にきめ細かい指導に努め、基礎・基本をしっかりと身に付けさせ、2年生からのコース選択に当たっては、生徒の興味・関心・進路に応じて万全を期して取り組みます。後者については、3カ年の特別コースとして難関大学合格を目指し指導します。

(2) 情報国際コース

「IT社会」「国際社会」といわれる現代社会に対応すべく、情報に関するさまざまな知識・技能及び実践的な英語を習得するとともに資格取得にも努め、広い視野と国際社会で活躍する力を身に付けさせます。そのため、今年度従来使用してきたパソコン74台については、年度当初から新機種を導入し、バージョンアップを図ります。

(3) 環境福祉コース

21世紀は、環境と福祉の世紀と言われていますが、この二つの課題を関連したものととらえ、身近な観点から出発し、自然との共生心を育むとともに福祉につながるよう学習を展開し、環境保全や社会に貢献できる力を養成します。

(4) スポーツ健康コース

生涯に通じる心身の健康のあり方を学び基礎体力の向上に取り組み、多様なスポーツを実践し、その過程においてスポーツすることの本当の喜びや楽しさを体得し、社会に貢献できる強い意志をもつ生徒を育成します。

(5) 特進総合コース

志望大学の現役合格を目標に早朝学習・大学進学講座・勉強合宿等さまざまな取り組みを行うとともに就職希望者については、可能な限り進学に変更させ、短大や専門学校希望者は、積極的に四年制大学を目指すよう指導し、夢の実現のために学習意欲と学力の一層の向上を図ります。

(6) 特進選抜コース

3年間、思い切り勉強にチャレンジし、難関大学への現役合格を目指し、早朝学習・放課後授業・大学進学講座・勉強合宿・各種検定試験等を通じて学力向上のためのさまざまな取り組みを行います。

Ⅲ. 財務計画の概要

平成23年度資金収支予算書及び消費収支予算書は、下表のとおりですが、予算執行に当たっては、資金繰りに十分留意し、適正な執行に努めて参ります。

1. 資金収支予算書

平成23年 4月 1日 から
平成24年 3月31日 まで

収 入 の 部		(単位 円)	
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金収入	373,100,000	381,940,000	△ 8,840,000
手数料収入	16,540,000	17,125,000	△ 585,000
寄付金収入	4,000,000	4,000,000	0
補助金収入	447,444,000	416,109,430	31,334,570
資産運用収入	680,000	680,000	0
事業収入	6,500,000	6,391,400	108,600
雑収入	29,240,000	2,685,998	26,554,002
借入金等収入	460,000,000	720,000,000	△ 260,000,000
前受金収入	59,721,500	59,721,500	0
その他の収入	84,000,000	152,000,000	△ 68,000,000
資金収入調整勘定	△ 90,721,500	△ 54,543,000	△ 36,178,500
前年度繰越支払資金	41,710,484	37,346,037	4,364,447
収 入 の 部 合 計	1,432,214,484	1,743,456,365	△ 311,241,881

支 出 の 部			
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人件費支出	619,050,000	552,671,481	66,378,519
教育研究経費支出	94,840,000	92,902,000	1,938,000
管理経費支出	44,239,000	48,089,000	△ 3,850,000
借入金等利息支出	8,400,000	9,600,000	△ 1,200,000
借入金等返済支出	541,000,000	679,270,000	△ 138,270,000
施設関係支出	6,000,000	129,560,000	△ 123,560,000
設備関係支出	24,050,000	27,003,400	△ 2,953,400
資産運用支出	61,000,000	58,670,000	2,330,000
その他の支出	38,700,000	129,700,000	△ 91,000,000
〔予備費〕	5,000,000	5,000,000	0
資金支出調整勘定	△ 55,000,000	△ 24,207,000	△ 30,793,000
次年度繰越支払資金	44,935,484	35,197,484	9,738,000
支 出 の 部 合 計	1,432,214,484	1,743,456,365	△ 311,241,881

2. 消費収支予算書

平成23年 4月 1日 から
平成24年 3月31日 まで

消費収入の部

(単位 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	373,100,000	381,940,000	△ 8,840,000
手数料	16,540,000	17,125,000	△ 585,000
寄付金	4,000,000	4,000,000	0
補助金	447,444,000	416,109,430	31,334,570
資産運用収入	680,000	680,000	0
事業収入	6,500,000	6,391,400	108,600
雑収入	1,000,000	1,000,000	0
帰属収入 合 計	849,264,000	827,245,830	22,018,170
基本金組入額 合 計	△ 44,500,000	△ 32,500,000	△ 12,000,000
消費収入の部 合 計	804,764,000	794,745,830	10,018,170

消費支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人件費	583,300,000	560,700,000	22,600,000
教育研究経費	142,840,000	140,102,000	10,056,500
管理経費	52,639,000	56,489,000	△ 3,850,000
借入金等利息	8,400,000	9,600,000	△ 1,200,000
徴収不能引当金繰入額	0	800,000	△ 800,000
〔予備費〕	5,000,000	5,000,000	0
消費支出の部 合 計	792,179,000	772,691,000	19,488,000
当年度消費収入超過額	12,585,000	22,054,830	
前年度繰越消費支出超過額	2,218,320,915	2,246,788,745	
翌年度繰越消費支出超過額	2,205,735,915	2,224,733,915	